

様式第2号の1-②【(1)実務経験のある教員等による授業科目の配置】

※専門学校は、この様式を用いること。大学・短期大学・高等専門学校は、様式第2号の1-①を用いること。

学校名	日本ペットアンドアニマル専門学校
設置者名	学校法人タイケン学園

1. 「実務経験のある教員等による授業科目」の数

課程名	学科名	夜間・通信制の場合	実務経験のある教員等による授業科目の単位数又は授業時数	省令で定める基準単位数又は授業時数	配置困難
動物管理専門課程	ペットビューティ・ケア科	夜・通信	2,160 時間	80×2=160 時間	
	動物飼育科	夜・通信	2,100 時間	80×2=160 時間	
	水族館・ドルフィントレーナー科	夜・通信	2,040 時間	80×2=160 時間	

2. 「実務経験のある教員等による授業科目」の一覧表の公表方法

【HP】 https://www.petandanimal.jp/schoolguidance/jouhoukoukai
--

3. 要件を満たすことが困難である学科

学科名
(困難である理由)

様式第2号の2-①【(2)-①学外者である理事の複数配置】

※ 国立大学法人・独立行政法人国立高等専門学校機構・公立大学法人・学校法人・準学校法人は、この様式を用いること。これら以外の設置者は、様式第2号の2-②を用いること。

学校名	日本ペットアンドアニマル専門学校
設置者名	学校法人タイケン学園

1. 理事（役員）名簿の公表方法

日本ウェルネススポーツ大学「情報公開」「13.財務情報」にて公表している。
<https://www.nihonwellness.jp/information/disclosure.html>

2. 学外者である理事の一覧表

常勤・非常勤の別	前職又は現職	任期	担当する職務内容 や期待する役割
非常勤	会社役員	2022.4.1～ 2026.3.31	組織、総務関係の知見を基に職員へ助言を行う。
非常勤	会社役員	2022.4.1～ 2026.3.31	授業内容などについて知見を基に職員へ助言を行う。
(備考)			

様式第2号の2-②【(2)-②外部の意見を反映することができる組織への外部人材の複数配置】

※ 様式第2号の2-①に掲げる法人以外の設置者（公益法人、医療法人、社会福祉法人、独立行政法人、個人等）は、この様式を用いること。

学校名	日本ペットアンドアニマル専門学校
設置者名	学校法人タイケン学園

1. 大学等の教育について外部人材の意見を反映することができる組織

名称	
役割	

2. 外部人材である構成員の一覧表

前職又は現職	任期	備考（学校と関連する経歴等）
(備考)		

様式第 2 号の 3 【(3)厳格かつ適正な成績管理の実施及び公表】

学校名	日本ペットアンドアニマル専門学校
設置者名	学校法人タイケン学園

○厳格かつ適正な成績管理の実施及び公表の概要

<p>1. 授業科目について、授業の方法及び内容、到達目標、成績評価の方法や基準その他の事項を記載した授業計画書(シラバス)を作成し、公表していること。</p>	
<p>(授業計画書の作成・公表に係る取組の概要)</p> <p>【作成について】</p> <p>授業科目は、毎年度「日本ペットアンドアニマル専門学校教育課程編成委員会規則」に定められた組織（教育課程編成委員会）により、授業科目の設定・講義の内容について、検討・検証に基づき、各授業を担当する教員等により、作成を行っている。授業計画書は、科目名、担当教員、授業の概要、到達目標及び内容、成績評価方法、に関する事項は、全科目共通することが必須となっており、学内統一様式で作成している。</p> <p>【時期について】</p> <p>授業計画書、授業日程（時間割）等は、翌年度授業開始までに担当教員が作成をし4月に生徒へ配布をした後、本校HPへ公開をしている。</p>	
授業計画書の公表方法	<p>【HP】</p> <p>https://www.petandanimal.jp/schoolguidance/jouhoukoukai</p>
<p>2. 学修意欲の把握、試験やレポート、卒業論文などの適切な方法により、学修成果を厳格かつ適正に評価して単位を与え、又は、履修を認定していること。</p>	
<p>(授業科目の学修成果の評価に係る取組の概要)</p> <p>学則において、学内の成績評価、履修・卒業要件（成績評価）を定めている。各学科で定める授業科目の試験はレポートも含み成績評価を行っている。</p> <p>(参考)</p> <p>第 18 条 校長は、教育課程の定めるところにより、各学年ごとに修了すべき学科目について試験を行い、合格者に対して当該科目の終了を認定する。ただし、臨床実習については、臨床実習の成績よって修了を認定することができる。</p>	

3. 成績評価において、GPA等の客観的な指標を設定し、公表するとともに、成績の分布状況の把握をはじめ、適切に実施していること。

(客観的な指標の設定・公表及び成績評価の適切な実施に係る取組の概要)

成績評価は、各学科各科目での試験（定期試験、実技試験）により評価される。
成績評価方法については、学生ハンドブック内記載、口頭説明にて通知している。

合否判定	成績評価	得点（100点満点）
合格	A	90点～100点
	B	80点～89点
	C	70点～79点
	D	60点～69点
不合格	F	0点～59点

客観的な指標の
算出方法の公表方法

【HP】

<https://www.petandanimal.jp/schoolguidance/jouhoukoukai>

4. 卒業の認定に関する方針を定め、公表するとともに、適切に実施していること。

(卒業の認定方針の策定・公表・適切な実施に係る取組の概要)

学則において、学内の成績評価、履修、成績評価を定めている。各学科で定める授業科目の試験やレポートにより成績評価を行い卒業評定会議は、毎年2月に行っている。

(参考)

学則18条の2

本校所定の課程を修了した者には、卒業証書を授与する。

卒業の認定に関する
方針の公表方法

【HP】

<https://www.petandanimal.jp/schoolguidance/jouhoukoukai>

様式第2号の4-②【(4)財務・経営情報の公表（専門学校）】

※専門学校は、この様式を用いること。大学・短期大学・高等専門学校は、様式第2号の4-①を用いること。

学校名	日本ペットアンドアニマル専門学校
設置者名	学校法人タイケン学園

1. 財務諸表等

財務諸表等	公表方法
貸借対照表	HPの情報公開より公表 https://www.nihonwellness.jp/information/disclosure.html
収支計算書又は損益計算書	同上
財産目録	同上
事業報告書	同上
監事による監査報告（書）	同上

2. 教育活動に係る情報

①学科等の情報

分野		課程名	学科名	専門士	高度専門士		
文化・教養		動物管理専門課程	ペットビューティ ー・ケア科	○			
修業 年限	昼夜	全課程の修了に必要な総 授業時数又は総単位数	開設している授業の種類				
			講義	演習	実習	実験	実技
2年	昼	1860 単位時間/単位	1020 単位時間/単位	720 単位時間/単位	420 単位時間/単位	単位時間/単位	単位時間/単位
			単位時間/単位				
生徒総定員数		生徒実員	うち留学生数	専任教員数	兼任教員数	総教員数	
80人		36人	0人	5人	8人	13人	

カリキュラム（授業方法及び内容、年間の授業計画）
（概要）様式第2号の3【(3)厳格かつ適正な成績管理の実施及び公表】の1.を参照
成績評価の基準・方法
（概要）様式第2号の3【(3)厳格かつ適正な成績管理の実施及び公表】の3.を参照
卒業・進級の認定基準
（概要）様式第2号の3【(3)厳格かつ適正な成績管理の実施及び公表】の2.を参照
学修支援等
（概要）生徒の技術勉強レベルなどの状況を教職員含めて共有して、技術に関しては、生徒個々に合った内容で行う場合もある。

卒業生数、進学者数、就職者数（直近の年度の状況を記載）			
卒業生数	進学者数	就職者数 （自営業を含む。）	その他
15人 (100%)	2人 (13.3%)	9人 (60%)	6人 (40%)
（主な就職、業界等） トリミングサロン、動物病院、ペットショップ、ペットホテル、ペットカフェ			
（就職指導内容） 就職対策講座にて履歴書、小論文の書き方や添削、面接などの指導を行っている。			
（主な学修成果（資格・検定等）） JKC トリマーC級、JKC 愛犬飼育管理士、JKC アニマル衛生士、NAVA トリマー2・3級 NAVA ドッグトレーナー1・2級、家庭動物管理士、ペットマッサージセラピスト、			
（備考）（任意記載事項）			

中途退学の現状		
年度当初在学者数	年度の途中における退学者の数	中退率
18人	4人	22.2%
（中途退学の主な理由） 心の病気や経済的なことから。		
（中退防止・中退者支援のための取組） 経済的な理由で退学を余技なくされないことがないように学費面でのサポートを行う。休みがちな生徒については心身の状況を考慮し、レポートや課題など生徒に合った方法で対応をしている。		

分野	課程名	学科名	専門士	高度専門士			
文化・教養	動物管理専門課程	動物飼育科	○				
修業 年限	昼夜	全課程の修了に必要な総 授業時数又は総単位数	開設している授業の種類				
			講義	演習	実習	実験	実技
2年	昼	1860 単位時間/単位	1020 単位時間/単位	480 単位時間/単位	360 単位時間/単位	単位時間/単位	単位時間/単位
生徒総定員数	生徒実員	うち留学生数	専任教員数	兼任教員数	総教員数	単位時間/単位	
80人	24人	0人	1人	6人	7人		

カリキュラム（授業方法及び内容、年間の授業計画）
（概要） 様式第2号の3【(3)厳格かつ適正な成績管理の実施及び公表】の1.を参照
成績評価の基準・方法
（概要） 様式第2号の3【(3)厳格かつ適正な成績管理の実施及び公表】の3.を参照
卒業・進級の認定基準
（概要） 様式第2号の3【(3)厳格かつ適正な成績管理の実施及び公表】の2.を参照
学修支援等
（概要） 生徒の技術勉強レベルなどの状況を教職員含めて共有して、技術や実習などに関しては、生徒個々に合った内容で行う場合もある。

卒業生数、進学者数、就職者数（直近の年度の状況を記載）			
卒業生数	進学者数	就職者数 （自営業を含む。）	その他
18人 (100%)	0人 (0%)	5人 (27.8%)	13人 (72.2%)
（主な就職、業界等） 動物園、水族館、牧場、サファリパーク、動物病院、ペットショップ、ペットホテル、ペットカフェ			
（就職指導内容） 就職対策講座にて履歴書、小論文の書き方や添削、面接などの指導を行っている。			
（主な学修成果（資格・検定等）） JKC愛犬飼育管理士、JKCアニマル衛生士、乗馬技能認定、ビオトープ管理士2級			
（備考）（任意記載事項）			

中途退学の現状		
年度当初在学者数	年度の途中における退学者の数	中退率
18人	0人	0%
（中途退学の主な理由） 心の病気や経済的なことから。		
（中退防止・中退者支援のための取組） 経済的な理由で退学を余技なくされることがないように学費面でのサポートを行う。休みがちな生徒については心身の状況を考慮し、レポートや課題など生徒に合った方法で対応をしている。		

分野	課程名	学科名	専門士	高度専門士			
文化・教養	動物管理専門課程	水族館・ドルフィン トレーナー科	○				
修業 年限	昼夜	全課程の修了に必要な総 授業時数又は総単位数	開設している授業の種類				
			講義	演習	実習	実験	実技
2年	昼	1860 単位時間/単位	1080 単位時間/単位	360 単位時間/単位	420 単位時間/単位	単位時間/単位	単位時間/単位
生徒総定員数	生徒実員	うち留学生数	専任教員数	兼任教員数	総教員数	単位時間/単位	
80人	40人	0人	1人	5人	6人		

カリキュラム（授業方法及び内容、年間の授業計画）
（概要） 様式第2号の3【(3)厳格かつ適正な成績管理の実施及び公表】の1.を参照
成績評価の基準・方法
（概要） 様式第2号の3【(3)厳格かつ適正な成績管理の実施及び公表】の3.を参照
卒業・進級の認定基準
（概要） 様式第2号の3【(3)厳格かつ適正な成績管理の実施及び公表】の2.を参照
学修支援等
（概要） 生徒の技術勉強レベルなどの状況を教職員含めて共有して、技術に関しては、生徒個々に合った内容で行う場合もある。

卒業生数、進学者数、就職者数（直近の年度の状況を記載）			
卒業生数	進学者数	就職者数 (自営業を含む。)	その他
25人 (100%)	0人 (0%)	9人 (36%)	16人 (64%)
(主な就職、業界等) 水族館、動物園、アクアショップ、漁師、ペットショップ、ペットカフェ			
(就職指導内容) 就職対策講座にて履歴書、小論文の書き方や添削、面接などの指導を行っている。			
(主な学修成果(資格・検定等)) JKC愛犬飼育管理士、JKCアニマル衛生士、潜水士、スクーバーダイビング、ビオトープ管理士2級			
(備考) (任意記載事項)			

中途退学の現状		
年度当初在学者数	年度の途中における退学者の数	中退率
26人	1人	3.8%
(中途退学の主な理由) 心の病気や経済的なことから。		
(中退防止・中退者支援のための取組) 経済的な理由で退学を余技なくされないことがないように学費面でのサポートを行う。休みがちな生徒については心身の状況を考慮し、レポートや課題など生徒に合った方法で対応をしている。		

②学校単位の情報

a) 「生徒納付金」等

学科名	入学金	授業料 (年間)	その他	備考(任意 記載事項)
ペットビューティー ・ケア科	200,000円	500,000円	360,000円	
動物飼育科	200,000円	500,000円	340,000円	
水族館 ・ドルフィントレーナー科	200,000円	500,000円	340,000円	
修学支援(任意記載事項)				

b) 学校評価

自己評価結果の公表方法 (ホームページアドレス又は刊行物等の名称及び入手方法) HPの情報公開にて公表 https://www.petandanimal.jp/schoolguidance/jouhoukoukai		
学校関係者評価の基本方針(実施方法・体制) 学校関係者として、関係企業を含む学校関係者評価委員会を組織し、それぞれの知見を活かした教育内容、学校運営について評価を行う。 評価内容は、本学園の理事会で報告をし、改善に取り組む。		
学校関係者評価の委員		
所属	任期	種別
株式会社 役員	2023.4.1～2025.3.31	企業等委員
株式会社 役員	2023.4.1～2025.3.31	企業等委員
株式会社 役員	2023.4.1～2025.3.31	企業等委員
株式会社 役員	2023.4.1～2025.3.31	企業等委員
学校関係者評価結果の公表方法 (ホームページアドレス又は刊行物等の名称及び入手方法) HPの情報公開にて公表 https://www.petandanimal.jp/schoolguidance/jouhoukoukai		
第三者による学校評価(任意記載事項)		

c) 当該学校に係る情報

(ホームページアドレス又は刊行物等の名称及び入手方法) https://www.petandanimal.jp/
--

(別紙)

※ この別紙は、更新確認申請書を提出する場合に提出すること。

※ 以下に掲げる人数を記載すべき全ての欄について、該当する人数が1人以上10人以下の場合には、当該欄に「-」を記載すること。該当する人数が0人の場合には、「0人」と記載すること。

学校コード	H113311900063
学校名	日本ペットアンドアニマル専門学校
設置者名	学校法人タイケン学園

1. 前年度の授業料等減免対象者及び給付奨学生の数

		前半期	後半期	年間
支援対象者（家計急変による者を除く）		15人	15人	15人
内 訳	第Ⅰ区分	—	—	
	第Ⅱ区分	—	—	
	第Ⅲ区分	—	—	
家計急変による支援対象者（年間）				0人
合計（年間）				15人
(備考)				

※ 本表において、第Ⅰ区分、第Ⅱ区分、第Ⅲ区分とは、それぞれ大学等における修学の支援に関する法律施行令（令和元年政令第49号）第2条第1項第1号、第2号、第3号に掲げる区分をいう。

※ 備考欄は、特記事項がある場合に記載すること。

2. 前年度に授業料等減免対象者としての認定の取消しを受けた者及び給付奨学生認定の取消しを受けた者の数

(1) 偽りその他不正の手段により授業料等減免又は学資支給金の支給を受けたことにより認定の取消しを受けた者の数

年間	0人
----	----

(2) 適格認定における学業成績の判定の結果、学業成績が廃止の区分に該当したことにより認定の取消しを受けた者の数

	右以外の大学等	短期大学（修業年限が2年のものに限り、認定専攻科を含む。）、高等専門学校（認定専攻科を含む。）及び専門学校（修業年限が2年以下のものに限る。）	
	年間	前半期	後半期
修業年限で卒業又は修了できないことが確定		0人	0人
修得単位数が標準単位数の5割以下 （単位制によらない専門学校にあつては、履修科目の単位数が標準単位数の5割以下）		0人	0人
出席率が5割以下その他学修意欲が著しく低い状況		0人	0人
「警告」の区分に連続して該当		0人	0人
計		0人	0人
(備考)			

※備考欄は、特記事項がある場合に記載すること。

上記の（2）のうち、学業成績が著しく不良であると認められる者であつて、当該学業成績が著しく不良であることについて災害、傷病その他やむを得ない事由があると認められず、遑つて認定の効力を失つた者の数

右以外の大学等	短期大学（修業年限が2年のものに限り、認定専攻科を含む。）、高等専門学校（認定専攻科を含む。）及び専門学校（修業年限が2年以下のものに限る。）		
	年間	前半期	後半期
		0人	0人

（3）退学又は停学（期間の定めのないもの又は3月以上の期間のものに限る。）の処分を受けたことにより認定の取消しを受けた者の数

退学	0人
3月以上の停学	0人
年間計	0人
(備考)	

※備考欄は、特記事項がある場合に記載すること。

3. 前年度に授業料等減免対象者としての認定の効力の停止を受けた者及び給付奨学生認定の効力の停止を受けた者の数

停学（3月未満の期間のものに限る。）又は訓告の処分を受けたことにより認定の効力の停止を受けた者の数

3月未満の停学	0人
訓告	0人
年間計	0人
(備考)	

※備考欄は、特記事項がある場合に記載すること。

4. 適格認定における学業成績の判定の結果、警告を受けた者の数

	右以外の大学等	短期大学（修業年限が2年のもの限り、認定専攻科を含む。）、高等専門学校（認定専攻科を含む。）及び専門学校（修業年限が2年以下のものに限る。）	
	年間	前半期	後半期
修得単位数が標準単位数の6割以下 (単位制によらない専門学校にあつては、履修科目の単位数が標準単位数の6割以下)		0人	0人
GPA等が下位4分の1		0人	0人
出席率が8割以下その他学修意欲が低い状況		0人	0人
計			
(備考)			

※備考欄は、特記事項がある場合に記載すること。